

第2回定例会が6月5日に開会し、会期を3日間と決めたと、大石田町土地開発公社の事業報告など4件の報告と、一般会計補正予算(第2回)など7件の議案を一括上程し、阿部町長が提案理由を説明しました。6人の議員が一般質問をおこなない町政をただししました。7日の最終日に議案の審議がおこなわれ、全議案とも可決しました。また、議員より提出された議案2件を可決し、閉会しました。

# 補正予算。条例の審議

## 補正予算関連

●小玉 勇議員

**Q** 林業振興費で川前地区のギフチヨウ、ヒメギフチヨウの生息地はどのような整備をするのか。

**A** ギフチヨウ等が生息できるような植生を残しながら環境の保全をしていくという作業になります。

みかけは大幅な増額となります。

●村形 昌一議員

**Q** 保育園施設改修事業に対し、より有利な起債で対応することだが、実際の町の持ち出しは。

**A** 施設整備事業費がおおむね1700万円、返済は100%交付税算入、残りの金額の95%が石綿対策事業債ということになります。

指標との整合をどうとるのか。

**A** 平成18年度末に実質公債比率が18%を超える自治体では総務省に改善計画を出すということで、当町でも10年で18%を下回るという計画を提出しております。

10年の間に計画を上回る支出があれば事業を見直さざるを得ません。

●大山 二郎議員

**Q** 緑環境税の一部を森林の地籍調査に使えないか。

**A** いわゆる市町村交付金が本来行政でやるべき業務に直接財源にしていることが可能かどうか県と協議します。



虹ヶ丘

## 大激論が交わされた 統合中学校建設促進を求める決議

〔決議文〕

少子高齢化時代を背景に町内小中学校の統合問題は早急な課題として町民等しく認識をしているところであります。

しかし、統合中学校問題は町の長年の懸案問題としてさまざまな経過をたどってきましたが、未だに実現しておりません。

解決に向けての町教育委員会は、町長の意向を受け一年半の期間を費やし、建設実現のため20数回の検討を経て、去る3月、その結果について、町、議会、町内全戸に報告しました。その検討結果を最大限尊重し、町長が約束する22年度開校実現のため下記事項を決議する。

1、建設場所は教育委員会が最良案と位置づけ、アンケート、住民説明会によって関係町民の多くが賛同した井出周辺の新

用地とする。

2、早期建設実現のため用地取得交渉を含め、着工に必要な諸手続きを速やかにすすめること。

提出者 議員 小林征雄

次のような質疑・討論がおこなわれました。

今教育委員会で最終決定に向けて審議している段階でこのような決議をすることは、教育委員会にプレッシャー(圧力)をかけることになると思う。議会がそのようなことをするべきではないと思う。

提出者答弁 国・県に7月中旬に補助申請を出さないとスケジュール的に間に合わないとのことであり、今議会で意思表明しないとその機会がなくなります。教育委員会の結果を尊重し、最良案と位置づけ、アンケート結果71%を占めた新用地案に

最良の施設・設備を、このことに議会がバックアップすることが当然の務めだと考えます。

新用地案では建設費が26億円あまりとあり、町の財政が破綻する心配はないか。

提出者答弁 住民説明会では、旧高校周辺案と新用地案ではその差1億6500万円と説明されました。駅前都市計画事業が平成19年度でほぼ完成します。その19年度予算3億1300万円を充当しただけで、有り余る財源です。それを考慮すれば財政破綻することはゆめゆめないと確信します。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

賛成議員 村形・関・橋・遠藤・星川(欠)・小林・伊澤・青木

反対議員 小玉・齋藤  
退席議員 村岡・奥山・大山・芳賀

## 反対討論

●小玉 勇議員

新しい土地を買うこと自体に反対です。これを決議した場合新聞に出ると思うが、井出周辺の人たちは当然のことながらこれを喜ぶことでしょう。

しかし、町有地があるにもかかわらず、新しい土地を買えというのはどうしても納得できません。少しくらいその土地の高低があるとかいろいろあるかもしれませんが、そこは知恵を絞って上手に使うべきだと思います。

●齋藤 公一議員  
私は、常に品格ある議会を心がけています。4人の退席者がいる中で、これを決議することは品格ある議会とは思えません。教育長から6月中旬に最終答申を出します、と言われております。7月に議会に提案されると思いますが、それまで待つべきだと思います。

## 賛成討論

●遠藤 宏司議員

平成13年中に中学校統合の方針を出されてから6年になりますが、未だに実現していません。遅れに遅れています。3月中旬に教育委員会が保護者からアンケートをとり、新用地案を最良案と決定し、町民に説明会を開催してきたわけです。町民は早期建設を願っております。

一中は、耐震強度不足とのことであり、最良と決定した新用地に一日も早く建設すべきです。



子どもたちのために1日も早く

●芳賀 清議員

**Q** 新たな温泉掘削は、2 km範囲内ではできないが、その範囲内で掘削した温泉館の場合、承諾などどうなっているのか。

**A** 重複掘削となるので、承諾は得ていると認識しています。

●高橋 徹議員

**Q** アスベスト除去改修工事費の内訳は。

**A** 4746万円を予算計上しているが、工事発注前なので、個別の金額は公にできません。

●関 幸悦議員

**Q** 新自給調整システム推進事業助成金100万円の内容は。

**A** 予算の組み換えであり、その中身については変わりありません。

## 条例関連

提案された一部改正条例2案件は全て全会一致で可決しました。